



高村

智 議員



録画映像

**質問1** 文月地区の周辺整備など積極的に展開してはと思うが

**市長** 関連事業者と意見交換を行いながら事業展開を図りたい

**問** 平成25年に植え付けが始まったブドウ畑から、いよいよワイナリーに着手するための準備が進められています。

さらに、世界でも有名なシエフがレストラン計画に入るなど、併せて4件のプロジェクトがある聞いています。

この規模の計画は、今まで北斗市で行ってきた地域振興策や観光客誘致、経済対策などと比べても、大変魅力的な内容がぎゅっしり詰まったものと感じます。

市がこの計画をきっかけとして何をやるのが、北斗市の「未来のカタチ」につながるものと期待せざるを得ません。そこで、市としても文月地区の周辺整備に着手し、観光プランニングや子どもたちの遊び場となるような小動物公園など、積極的に展開してはと思いますが、市長の考えをお聞かせください。

**答(市長)** 現在、文月地区では、醸造用ブドウの栽培に取り組んでいる4つの農業法人が、ワイナリーや農家レストランのほか、農泊施設などの建設に向けて準備を進めており、国の交付金を活用した建設事業費の支援を受けるため、現在、申請手続きを進めています。

このような動きを受け、ワイン産地の確立とワインを核とした地域活性化の実現に向けた課題や問題点を検証し、その取り組みを加速させるため、醸造用ブドウ生産事業者や産業団体などを構成者とした「北斗市ワインによる地域活性化検討会」を令和4年度に発足させ、本格的な活性化対策を検討することにしていきますが、まずは、基盤となる関連施設の整備をそれぞれの事業者が計画的かつ着実に進めていくことが重要となるので、市としても最大限の支援を行っていくほか、関連事業者と意見交換を行いながら事業展開を図ってまいります。

また、観光プランニングについては、「観光振興プランⅡ」でも、道道96号線沿いは観光エリアとして重要路線と捉えており、文月地区のワイン事業は、新たな観光振興の起爆剤として大いに期待できますので、引き続き官民一体となった取り組みを進めてまいります。

**質問2** 北斗市運動公園野球場の整備と長寿命化計画の考えは

**市長** 長寿命化計画で令和12年度以降の改修計画となっている

**問** 公共施設の管理や修繕に関する件。(1)北斗市運動公園野球場の土に関して、

大会を開催するに当たり、雨天時に水を吸い取った後、グラウンドに備えてある砂を入れますが、一時的な対応であればその場はいいのですが、後日、砂を取り除かなければ選手へのけがにつながります。グラウンドと同じ土で整備することがけが予防になると考えますが、長寿命化計画と併せて考えをお聞かせください。

は、令和2年度にLED化を実施したスポーツセンターの電気料金を比較すると、令和元年度の電気料金総額270万3千551円に対し、令和2年度が総額116万4千215円となり、153万9千336円、率にして56・9%の削減となっています。

**答(市長)** (1)利用者が砂を補充して使用しては行われていないのが現状です。

**問** 入札も無く、指名願いが出ている1社との随意契約ですが、なぜ入札やプロポーザルではないのか。

補充材料については、グラウンドの土の代わりになるような黒土と火山灰砂の混合材料も用意しているため、今後も利用団体が使用前に状態を確認し、必要に応じて補修してご利用いただきたい。

**答(副市長)** 正規なプロポーザルではなかったかもしれないが、随意契約先からの提案内容など、市にとって利益になると判断したためです。

また、修繕については、令和4年度から実施し、フェンス施設などは長寿命化計画の中で、令和12年度以降の改修計画となっています。

(2)市では、公共施設等のLED化について、持続可能な財政運営を念頭に置き、初期投資費用の平準化を図るため、令和2年度から、「照明器具借上事業」により、順次実施しています。

ご質問の電気料金の削減金額について



景観も素敵な文月地区のブドウ畑